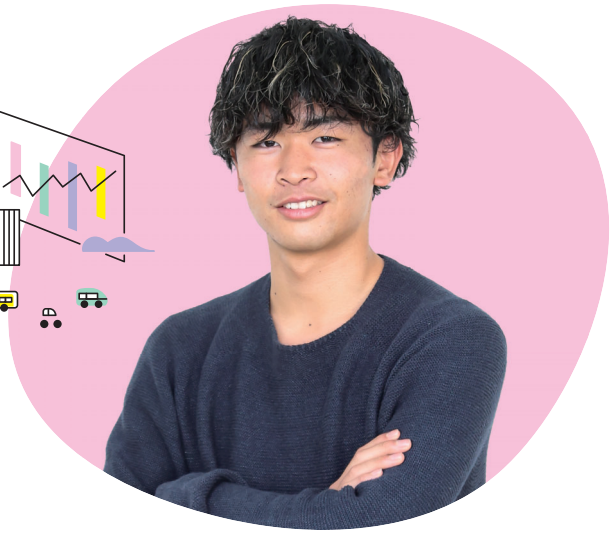
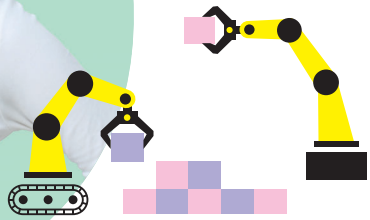
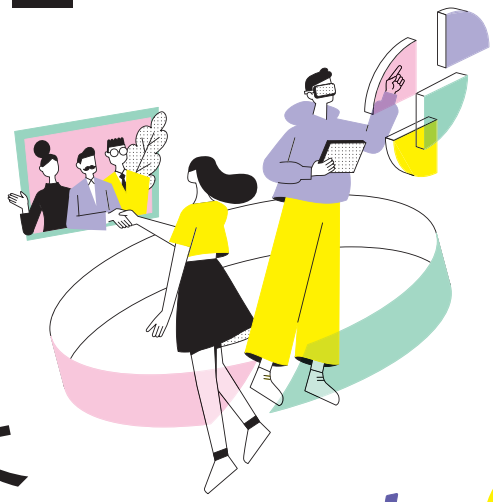
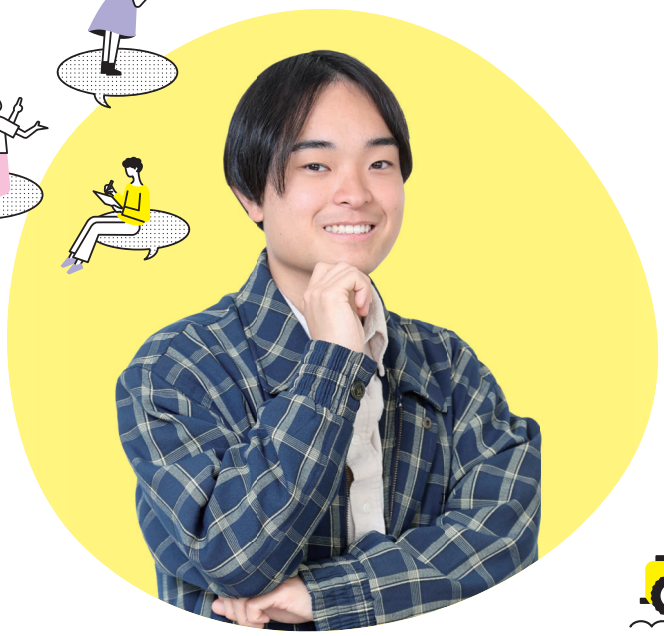


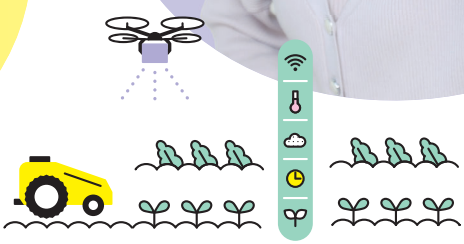




国立大学法人茨城大学

地域未来共創学環 2026





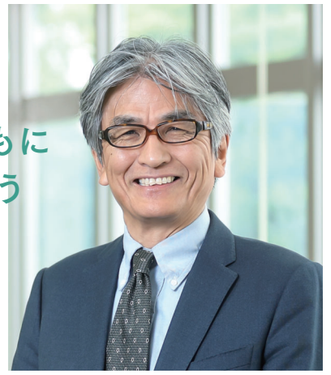
「ビジネス」×「データサイエンス」×「ソーシャル・アントレプレナーシップ」を身に付け、地域の未来を切り拓く挑戦者へ！

地域未来共創学環　基本情報

開設　令和6年4月 / 入学定員　40名 / 学位　学士（学術）/ キャンパス　水戸キャンパス

MESSAGE

地域の未来をともに創っていきましょう



地域未来共創学環長

福与 徳文

FUKUYO　Narufumi

令和６年４月に、茨城大学に新しい教育組織（学士課程）である「地域未来共創学環」が誕生しました。本学環は、これまでの学部とは異なり、分野・文理横断の学びと、企業・自治体などにおける実習との往還教育を特徴としています。

人口減少、地域の活力低下、空き家問題、人手不足、耕作放棄地など、地域には様々な課題が山積しています。こうした地域の課題を解決していくためには、一つの学問体系を身に付けるだけではなく、文系・理系を問わず、分野を横断した学びが必要となります。また、データにもとづいて判断する力を身に付けることや、新たな価値を創出する起業家精神を養うことも求められています。

地域未来共創学環では、ビジネスとデータサイエンスの基礎をきちんと学んだ上で、ソーシャル・アントレプレナーシップ（社会的起業家精神）を身に付け、課題解決のために役立つ科目をさまざまな分野（人文社会科学、工学、農学）から選んで学びを深めるというカリキュラムを組んでいます。

その上で、企業や自治体など、実際の現場で働きながら、大学で学んだこと（ビジネス×データサイエンス）を実践し、その中でさまざまな壁にぶつかったり、課題解決のための新たな提案を行なったりするというコーオプ教育を取り入れています。

地域の課題解決に向けて主体的に取り組んでいきたいと考えている皆さん。本学環で地域（企業・自治体等）の方々とともに学び、地域の未来をともに創っていきましょう。

夢中になれる学びが、ここにある!

茨城大学 地域未来共創学環

MESSAGE

観光を通じて 地域課題に向き合う

吉沼 千裕 ｜ YOSHINUMA Chihiro
（1年｜茨城県・土浦第二高等学校出身）

私は幼い頃からさまざまな地域を旅行する中で、観光業という分野に興味を持つようになりました。近年、観光業は新型感染症の影響を受けつつも回復の兆しを見せていますが、その一方でオーバーツーリズムによる課題も深刻化しています。私はこのような地域課題の現状を正しく理解し、解決していくためには何が必要とされているのかを学びたいと思い地域未来共創学環を志願しました。
分野・文理横断型の幅広い学びを通して、多くの視点から課題にアプローチする力やマーケティング力、ビジネスに関する知識を身に付ける事ができることや、学内の学びだけでは得られない実践的な経験ができる、コーオプ実習に魅力を感じています。
地域未来共創学環には、新しいことに挑戦する意欲を持つ人が多く、刺激を受ける毎日です。自分にはなかった考え方に触れ、何事にも前向きに取り組む雰囲気のなかで学べることに、大きな期待と楽しみを感じています。

幅広い学びで地域の 未来を切り開く挑戦者へ

箱崎 秀路 ｜ HAKOZAKI Hiiro
（1年｜福島県・磐城高等学校出身）

私は高校3年生の夏休み後に地域未来共創学環への志願を決めました。高校在学中は進路に悩む日々が続きましたが、データサイエンスとビジネスを学び、コーオプ実習により早い段階から社会に出て実践的な学びができること点に大きな魅力を感じ、志願を決めました。地域未来共創学環には、分野・文理横断型のカリキュラムや複数学部との連係により、幅広い学びの機会が用意されてお、視野を広げながら柔軟に学べる環境が整っています。変化が著しく答えのない課題が多い今だからこそ、学環の掲げている地域課題の解決や新たな価値創出に挑戦する実践的な人材が必要だと思います。学環では積極的にコミュニケーションを取る人や様々な分野に興味のある人が多く集まっていて、実りのある活動が多くできそうです。ともに学環で学び、大学生活を楽しみましょう。

地域に 貢献できる人材へ

湯澤 杏里 ｜ YUZAWA Anri
（1年｜茨城県・緑岡高等学校出身）

私は将来、地域の様々な課題を新たな発想で解決し、自分の住む地域の活性化に貢献していきたいと考え地域未来共創学環を志望しました。また、コーオプ実習により、大学生のうちから民間企業や自治体などで長期間の実践的な体験を経験できることも魅力的でした。地域未来共創学環では、分野・文理横断型のカリキュラムを通じて、経済学から農学まで幅広く学ぶことができるため、課題解決に生かすことのできる思考力・判断力・コミュニケーション力を身につけたいと考えています。特に、過去の経験を未来の判断に生かすデータサイエンスを学修し、データを活用するために必要な知識やITスキルを磨き、それらを活用してより具体的な解決方法を導ける人材になりたいと考えています。

入学者選抜情報

アドミッション・ポリシー

地域未来共創学環では、ビジネスとデータサイエンスを中心とした分野・文理横断の学びから、地域課題の解決や、新たな価値創出に挑戦する実践的な人材を育成します。したがって、地域未来共創学環において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

1 知識・技能
地域未来共創学環における分野・文理横断的な学修に必要な基礎学力を有していること

2 知的関心
社会や地域における様々な課題の背景や解決に対する知的関心を有していること

3 思考力・判断力・表現力
これまでの学習と生活において、多様な人々と共に課題解決をめざした経験があり、
そのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいは、それらを身に付ける意欲を有していること

4 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
これまでの学習と生活において、多様な人々とコミュニケーションを積極的に行い、地域課題の解決を意識して主体的に活動した経験があること、あるいは地域課題の解決に向けて探究する意欲を有していること

志願者データ

※令和6年度・令和7年度入学者選抜志願者

2年間のべ
志願者数 307 名

全国各地から
志願があります！

出身都道府県

										北海道		
										青森		
										秋田	岩手	
										山形	宮城	
									新潟	福島		
						石川	富山		群馬	栃木	茨城	
佐賀	福岡	山口	島根	鳥取	兵庫	京都	福井	岐阜	長野	埼玉	千葉	
長崎	大分		広島	岡山		大阪	滋賀			東京		
熊本	宮崎		愛媛	香川		奈良	三重	愛知	山梨	神奈川		
鹿児島			高知	徳島		和歌山			静岡			
沖縄												

学位	学士（学術）	入学定員	40名

選抜区分

※令和8年度入学者選抜より一般選抜（後期日程）は実施しません。

入学定員	一般選抜（前期日程）		総合型選抜	私費外国人留学生選抜
	数学選択	外国語（英語）選択		
40名	14名	14名	12名	若干名

入学者選抜の特色

※最新の内容については、本学ホームページ、学生募集要項等でご確認ください。

特色 1 一般選抜では文系・理系どちらからも受験OK

地域未来共創学環では、ビジネスとデータサイエンスを中心とした分野・文理横断型のカリキュラムとしています。このため、入学者選抜は文系・理系どちらの志願者も受験できる内容となっています。

共通テスト
地理歴史・公民　理科
から3科目選択！

一般選抜（前期日程）
個別学力試験を
数学　外国語（英語）
から選択可能！

特色 2 総合型選抜では集団活動を実施！

地域未来共創学環の総合型選抜は、大学入学共通テストを課さず、集団活動及び面接の結果を総合して評価します。

特色 3 すべての選抜で面接を実施

地域未来共創学環では、主体性やコミュニケーション能力を測るため、すべての選抜において面接を実施します。

地域未来共創学環について

地域の未来を切り拓く挑戦者になろう！

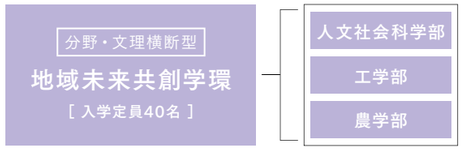
現在、様々な分野でデジタル化が進み、社会の変革スピードはこれまでにない速さで進んでいます。
これからの社会では、IoTやAIなどのテクノロジーを誰でも活用できるようになり、これらの技術を活用しながら新たな価値の創出や地域や社会が抱える課題を解決できる人材が求められています。
さらには、これまでに無かった新たな価値を地域の産業や社会に創り出していく人材や様々な地域の課題を解決することができる人材が求められています。
このため、地域未来共創学環では、「ビジネスとデータサイエンスを中心とした分野・文理横断の学びから、地域課題の解決や、新たな価値創出に挑戦する実践的な人材」を養成します。

「学環」とは ―― 大学設置基準等に定められている「学部等連係課程制度」に則った学士課程であり、学部相当の教育組織です。卒業時には「学士（学術）」の学位が授与されます。

教育の特色 FEATURES

特色 1 様々な地域課題を解決するための知識や能力を養う「課題先行型×分野・文理横断型」のカリキュラム

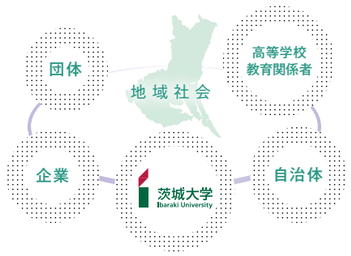
地域資源の再発見とブランド力の向上、過疎地域の活性化、モノづくりの効率化・高付加価値化、生産性の向上など、地域の様々な課題を解決するためには、文理を問わず複眼的な視点が必要です。そこで、学環では、学生自身が強い関心をもつ社会課題に関連したプログラムや授業科目を主体的に選択できる「課題先行型」で、本学の連係３学部（人文社会科学部、工学部、農学部）の授業を中心に構成された「分野・文理横断型」のカリキュラムが編成されています。



- POINT1 すべての学生がビジネスとデータサイエンスの知識と能力を身に付ける！
- POINT2 自分に合ったプログラムを選択できる！
- POINT3 企業・自治体等での実習で、大学で学んだ内容を実践！
- POINT4 実習は給与が支給され、社会人としての責任や自覚を大学生のうちから身に付けられる！

特色 2 地域と共に創り、育てる「共創教育体制」

学環では、「地域と創り、地域と育てる」をコンセプトに大学・地域が一体となって教育を行う「共創教育体制」を構築します。
教育課程の構築や点検・改善を地域の皆様と共に行うことで、常に地域から求められる実践的な人材を持続的に輩出できる体制となっています。



特色 3 経験豊かな様々な分野の教員と専属スタッフによる充実の支援体制

学部等連係課程である学環には、人文社会科学部、工学部、農学部から集まった様々な分野で実績と経験を持つ教員が所属します。また、専属のスタッフや学生担任等が、履修科目の選択の相談や、コーオプ実習中のサポートを行うなど、きめ細かで充実した学修支援体制となっています。

地域未来共創学環が求める学生

こんな人を育てます

地域未来共創学環では、
「ビジネスとデータサイエンスを中心とした分野・文理横断の学びから、地域課題の解決や、新たな価値創出に挑戦する実践的な人材」を育てます。

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

地域未来共創学環の学生が卒業する時に身に付けているべき5つの能力

1. **地域活性化志向**
   地域課題解決に積極的に挑戦し、新たな価値の創出など、地域の活性化に主体的に取り組む姿勢と実践力
2. **専門分野の学力**
   経営・経済、データサイエンスの専門的知識に加えて、地域課題の解決に必要な複眼的・分野横断的な観察力、分析力、実践に基づく総合的な思考力
3. **課題解決能力・コミュニケーション力**
   他者と協働し、課題解決に向かうための企画力やコミュニケーション能力
4. **社会人としての姿勢**
   職業人や市民として倫理や共感に基づき、専門職業人として他者と協働し、持続可能な地域の発展に主体的に貢献しようとする態度・姿勢
5. **世界の俯瞰的理解**
   多様な文化と価値を理解し、幅広い知識により世界を俯瞰的に理解する力

卒業後の進路

企業	• ソーシャルビジネス※を事業として展開している企業 • 企業（流通業、小売り業、製造業、農業団体など）の企画部門やマーケティング部門、プロダクトマネージャー、データアナリスト　など
自治体	政策企画部門　など
団体等	NPO　など
その他	起業（非営利を含む）、コンサルタント、大学院進学　など

※ソーシャルビジネスとは、社会課題をビジネスの手法で解決する事業のこと

学びの内容

CURRICULUM

地域未来共創学環のカリキュラムは、全学生がビジネスとデータサイエンスをそれぞれ体系的に学びつつ、高度な実践力を育成するためのコーオプ実習を通した「理論と実践の往還」を可能としています。
これにより在学中に複眼的・分野横断的な観察力、分析力、実践に基づく総合的な思考力や他者との協働を通して主体的に貢献しようとする態度・姿勢を身に付けることができます。

地域の課題をデータで分析 ／ ビジネスの手法で課題解決 ／ 課題解決に取り組む新ビジネスの起業

ビジネスとデータサイエンスを中心とした分野・文理横断の学びにより
地域課題の解決や、新たな価値創出に挑戦する実践的な人材へ

卒業

	1年次	2年次	3年次	4年次
学びの集大成			プログラム演習	卒業研究等
実践	学内	学外（企業・自治体）		
	B プレコーオプ演習	プレコーオプ実習 無給	コーオプ実習Ⅰ 有給	選択 コーオプ実習Ⅱ 有給

※コーオプ実習（Ⅰ・Ⅱ）を履修する前に、学内で企業研究等を行う「プレコーオプ演習」と、実習先で短期間の就業体験をする「プレコーオプ実習」を履修します。

＋

理論

プログラム共通科目を「経済学概論」、「経営学概論」、「マーケティング・サイエンスⅠ」、「微積分学」、「線形代数学」、「プログラミングⅠ」、「確率・統計」などがあり、これらの科目は全員必修です。

A プログラム共通科目：経営・経済 ／ データサイエンス

A 学環基盤科目：ソーシャル・アントレプレナーシップ、人文地理学、社会学、調査法、実践英語

A 基盤教育科目：アントレプレナーシップ、情報、AI・データサイエンス、英語、リベラルアーツ など

D 課題探究科目：コミュニティデザイン ／ 経済・環境・ガバナンス ／ スマート生産

C プログラムコア科目（深化した 経営・経済 ／ データサイエンス）

- 地域ビジネスデザインプログラム
- 選択プログラム
- 地域創生データサイエンスプログラム

2年次にどちらかを選択

※イメージ

高校 ― 総合的な探究の時間
課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付ける

挑戦者としてのマインドを育てる 地域未来共創学環の特別な科目

ソーシャル・アントレプレナーシップ（社会的起業家精神）
アントレプレナーシップ（起業家精神）

アントレプレナーシップ（起業家精神）とは、一般的にはゼロから事業を起こすことができる人材が持つマインド（精神）のことを意味します。アントレプレナーシップを持つ人材は、複雑な社会の状況を把握し、課題を明確にし、新たな解決方法を導くことができます。そういった人材は、企業や自治体などでも不可欠になっており、その希少性は高まっています。起業をするかしないかを問わず、あらゆるキャリアにおいて、アントレプレナーシップは働く場における人材としての価値を高め、周囲にもエネルギーを与えます。
そして、ソーシャル・アントレプレナーシップ（社会的起業家精神）とは、社会にある様々な課題を、ビジネスの方法を用いて事業などを起こし、解決していく人材が持つマインド（精神）のことを意味します。ソーシャル・アントレプレナーシップを持つ人材は、企業、自治体、NPOなどとの連携・協働により、それぞれのエネルギーを活用して新たな価値創造に取り組むことができ、そうした人材が地域に待望されています。
地域未来共創学環でソーシャル・アントレプレナーシップを学ぶ学生は、社会的起業家精神を身に付けるとともに、地域や世界の課題を幅広く捉え、現代社会を形成する政策・制度、テクノロジー、ビジネスの知識獲得を目指します。加えて、企業や自治体におけるコーオプ実習で学ぶ実践知を通して、社会的価値と経済的価値を追求する感覚を身に付けます。

A すべての学生が身に付ける

ビジネス × データサイエンス × ソーシャル・アントレプレナーシップ

学環の学生は、これからの社会で活躍するために必要な「ビジネス（経営・経済）」「データサイエンス」の知識・能力と、地域課題の解決や新たな価値の創造に主体的に挑戦する姿勢である「ソーシャル・アントレプレナーシップ」を身に付けます。

B 新しい実習スタイル「コーオプ実習」

学環では、他大学ではほとんど例のない「コーオプ実習」と呼ばれる新しい実習を導入します。コーオプ実習（Ⅰ・Ⅱ）では、1か月以上にわたり、実習として茨城県内の企業や自治体で実際に働くことで、大学で学んだ知識・能力を実社会で応用することにより高い実践力を身に付けます。実習内容は大学と実習先が協働して設計します。コーオプ実習は、授業としての単位が付与されるだけでなく、実習先の社員・職員として業務に従事するので給与も支給されます。これにより、従来のインターンシップとは異なり社会人基礎力を学生のうちから身に付けることができます。

C 選択制の深化した2つのプログラム

学環の学生は、共通して「ビジネス（経営・経済）」と「データサイエンス」を学びます。さらに2年次には、ビジネス（経営・経済）をより深く学ぶための「地域ビジネスデザインプログラム」か、データサイエンスをより深く学ぶための「地域創生データサイエンスプログラム」を選択し、より専門性を高めます。

D 様々な地域課題解決に対応する専門的知識を身に付ける多様な科目群

学環では、分野・文理を横断した幅広い「課題探究科目」が用意されています。学生自身が探究する課題や進路を見据えて、自ら選択して履修することができます。これにより、学生一人一人の関心や進路に応じた幅広い視野と専門性を身に付けることができます。

● 主な科目の内容
コミュニティデザイン、多文化共生、公共政策、環境政策、都市防災、ランドスケープデザイン、人文地理、経営情報、経済政策、環境経済、農業経済、農業生産、食品製造、スマート農業、AI・IoT活用、シミュレーション、ソリューション・プランニング　など

選択

地域ビジネス デザインプログラム

プログラムの特色

地域ビジネスデザインプログラムは、
データに基づくビジネスマインドを持って
地域課題の解決に挑む人材を養成するプログラムです。

企業の在り方や現実のビジネスに関する経営学の専門知識と市場経済に関する経済学の専門知識を体系的に学びながら、データに基づいた課題探究・整理に必要な数学的な知識と統計学的な応用力を身に付けます。

さらには、ビジネスにおけるデジタル技術の活用に必要な知識も体系的に学び、専門的な会計知識や経営知識、マーケティング手法を身に付けます。

地域ビジネスデザインプログラムは こんな人におススメ！

- データに基づくマーケティング能力を身に付けたい！
- 地域に貢献する新しい価値の創出やビジネスに興味がある！
- 公務員になって地域に貢献したい！
- 企業に就職し、企画系の業務に携わりながら地域に貢献したい！

卒業後の進路

企業	企画部門、マーケティング部門など
自治体	政策企画部門　など
団体等	農業団体などの企画部門、NPO　など
その他	起業（非営利を含む）、コンサルタント、大学院進学　など

担当教員からのメッセージ

MESSAGE

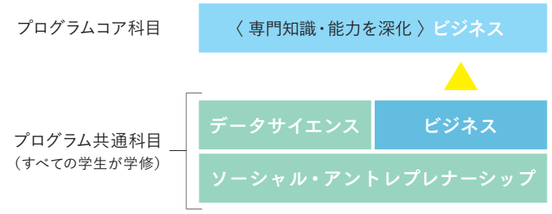
データというエビデンス（証拠）に基づく思考を身に付け、
課題解決のツールとしてより実践的な経済学・経営学を学びます。
新たな学びに参加しよう！

田中 泉 ｜ TANAKA Izumi

地域や社会が抱える課題解決へのアプローチには効率性という経済学の視点、新たな価値の創造や事業化という経営学の視点が欠かせません。さらに、経済学や経営学の知識を実践で活かすためには、データというエビデンス（証拠）に基づく思考が求められます。このプログラムでは、データサイエンスの基礎知識を土台とし、課題解決のツールとしてより実践的な経済学・経営学を学びます。あなたも新たな学びへの挑戦に参加しませんか。

学びの内容

プログラム共通科目では、企業の在り方や現実のビジネスに関する経営学の専門知識とビジネスの場である市場経済に関する経済学の専門知識を体系的に学びつつ、データに基づいた課題探究・整理に必要な数学的な知識と統計学的な応用力、さらには、ビジネスにおけるデジタル技術の活用に必要な知識を体系的に学びます。
プログラムコア科目では、経営・経済に関する深い専門性と、コミュニティビジネスや農業経営といった周辺的な知識を学び、応用能力を身に付けます。



授業内容

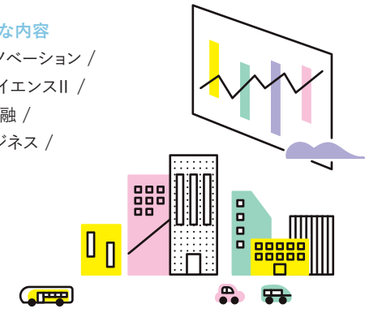
プログラム共通科目

ビジネス関係の主な内容
ミクロ経済 / マクロ経済 / 経済学 / 会計学 / 経営学 / マーケティングⅠ / マーケティング・サイエンスⅠ / 経営戦略 / 計量経済

データサイエンス関係の主な内容
線形代数 / 微積分 / 確率・統計 / 多変数の微積分 / データ活用・実践 / プログラミング / 多変量解析

プログラムコア科目

地域ビジネスデザインプログラムの主な内容
経営管理 / 経営組織 / 経営財務 / イノベーション / マーケティングⅡ / マーケティング・サイエンスⅡ / 財務会計 / 管理会計 / 原価計算 /金融 / 金融システム / 商法 / コミュニティビジネス / 地域メディアビジネス / 農業経営 / 農産物流通 / フードシステム



教員紹介

他にも様々な分野の教員が学環の授業科目を担当しますが、今回はその中の一部の教員を紹介します！

企業ー消費者間のコミュニケーションの変化を探求

田原 静 ｜ TABARA Shizuka

スマートフォンを通じて企業と消費者が直接つながり、デジタル技術を駆使したサービスが普及することで、私たちの生活はどのように変わって行くのか。企業−消費者間のコミュニケーションや、消費者とデジタルサービスとの関係について研究しています。学環では、経営学概論やマーケティング・サイエンス等の授業を担当します。データを手がかりに疑問を明らかにして行くことはとても面白く、一緒に学べることを楽しみにしています。

データの活用とフィールドワークで地域の課題を解決する

髙瀬 唯 ｜ TAKASE Yui

景観や緑地といった地域資源を活用し、どのように個性豊かな地域づくりを進められるのかを研究しています。研究では、景観に対する人々の心理データや、国や自治体が公開している地理データなど様々なデータを駆使します。フィールドワークもします（地域の課題は大学内ではなく、地域にある！）。学環では、景観による地域づくりに関する理論とそれに関する実践的な手法を学ぶ授業を担当します。一緒に地域の課題解決を探求しよう！

選択

地域創生データサイエンスプログラム

プログラムの特色

地域創生データサイエンスプログラムは、
新しい情報化社会を支えるコンピュータや大規模データの
活用法を学び、地域社会の経営課題を分析して解決に導く
ビジネス実行力を養うプログラムです。

データサイエンスの理解に必要な数学的知識、多様なデータを評価・分析・活用するための知識・能力を体系的に学び、さらには、プログラミングや、IoT、シミュレーションなどのデータサイエンスに関する高度な専門性と応用的な知識・能力を学びます。

卒業後は、データサイエンスや機械学習等による新しいデジタル情報処理技術を積極的に活用し、生産から販売におけるバリューチェーン上の全事業活動を効率化・省人化・高付加価値化することで、地域産業の競争優位性を加速できる人材としての活躍を期待しています。

地域創生データサイエンスプログラムは こんな人におススメ！

- 新しいデジタル情報処理技術に興味がある！
- プログラミングや情報分析能力を身に付けたい！
- 実践的なデータサイエンス能力を身に付けたい！
- スマート農業に興味がある！
- 将来、データサイエンス能力を活かして、製造業や農業の効率化を図りたい！
- データに基づく機械学習・最適化・シミュレーションを学び、ビジネスに役立てたい！

卒業後の進路

企業	製造業、農業、情報サービス業、小売業　など
自治体	情報戦略部門、産業戦略部門、政策企画部門　など
団体等	シンクタンク、研究調査機関　など
その他	起業、コンサルタント、大学院進学　など

担当教員からのメッセージ

MESSAGE

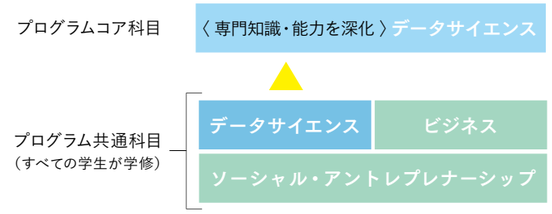
データサイエンスをビジネスに活用する専門技術を深く学び、
製造業や農業における効率化を促進し、地域創生を推進できる
実践的なデータサイエンス技術者を育てます。

鈴木 智也 ｜ SUZUKI Tomoya

現代のデジタル情報社会において「データサイエンス」の需要は非常に高く、合理的かつ高効率な社会経済活動に必要な新技術です。本プログラムでは、共通科目で学んだビジネス知識を踏まえつつ、具体的にデータサイエンスをビジネスに活用する専門技術を深く学びます。特に茨城県の強みである製造業や農業における効率化を促進し、地域創生を推進できる実践的なデータサイエンス技術者を育てます。皆さんの活躍を期待しています！

学びの内容

プログラム共通科目においては、データサイエンスの理解に必要な数学的基礎力、多様なデータを活用するために必要なプログラミング基礎力、データから合理的な解決策を導くために必要な分析基礎力に関する知識・技法を体系的に学びます。さらに、これらの学びを地域創生に活用するために必要となるビジネス基礎力として、経営・経済に関する背景知識を体系的に学びます。
プログラムコア科目においては、プログラム共通科目の発展として機械学習やIoTデバイス等の活用により生産性向上及び地域創生に資する実践的能力を養い、データサイエンス全般における高度な専門性を身に付けます。



授業内容

プログラム共通科目

ビジネス関係の主な内容
ミクロ経済 / マクロ経済 / 経済学 / 会計学 / 経営学 / マーケティングⅠ / マーケティング・サイエンスⅠ / 経営戦略 / 計量経済

データサイエンス関係の主な内容
線形代数 / 微積分 / 確率・統計 / 多変数の微積分 / データ活用・実践 / プログラミング / 多変量解析

プログラムコア科目

地域創生データサイエンスプログラムの主な内容
複素解析 / 常微分方程式 / ソフトウェア活用 / コンピュータ活用 / IoT活用 / プログラミング応用 / 数理計画とOR / モデル化とシミュレーション / 機械学習 / 地理情報 / 自然言語処理 / 画像処理

教員紹介

他にも様々な分野の教員が学環の授業科目を担当しますが、今回はその中の一部の教員を紹介します！

データを活用し、新しい形の「まなび」を生み出す

梅津 信幸 ｜ UMEZU Nobuyuki

センサやIoTからの各種データに基づく新しい「まなび」を研究中です。教科書やPC、スマートフォンにとらわれない、より大きく体を動かして体験的に学ぶ方法として床や模型へのプロジェクション、情報キオスク、物体を触って学べるタンジブル机などを博物館や科学館と協同で開発しています。学環ではプログラミングや画像処理、IoTなどの授業を担当します。新しい形の「まなび」をともに生み出したい学生をお待ちしています。

多種多様な課題をデータを用いて解決する

加納 徹 ｜ KANO Toru

現在世の中は、医療・健康、金融・経済、文化・観光など、さまざまな種類の膨大なデータで溢れています。私の研究室では、医療・産業分野で用いられるX線CTを対象に、膨大なCT（断面）画像データを分析することで、病変や欠陥等の異常を見つけ出す取り組みに挑戦しています。学環では、データの活用や実践に関する授業を担当します。社会や地域に見られる多種多様な課題の解決に向けて、実践的にデータを収集・分析・活用する方法を、授業と演習を通して身に付けていきましょう！

コーオプ教育

「コーオプ教育」とは —— コーオプ教育は20世紀初頭にアメリカで始まった「座学と現場における就業体験を融合させた」教育制度です。大学と企業等が協力して実習の内容や方法を設計・実施し、単位認定が行われます。また、実習期間が長期間となり、有給となる場合が多いことが特色です。

FEATURES 地域未来共創学環のコーオプ実習

- 1年次から4年次の各年次で演習や実習を用意
- 大学で学んだ知識・能力を企業や自治体などで実際に働きながら実践・応用
- 実習で自身に足りない知識や能力を知り大学で学修する「on-Campusとoff-Campusの往還型学修」により高度な実践力を育成！
- 3年次と4年次の実習は給与も支給されます
- コーオプ教育を専属的にサポートする専門職員（UEA：University Education Administrator）を配置

POINT

茨城県内の50を超える多様な実習先！

卸売業、小売業、製造業、金融業、
情報通信業、サービス業など
様々な業種の企業が参加！

企業・団体　自治体

具体的な実習先は地域未来共創学環
ホームページでご確認ください！

※同一実習先に多数の希望があった場合などは、希望の実習先とならない場合もあります。
※一部の実習先では、プレコーオプ実習（無給）のみの実施となります。

? インターンシップとの違いはなに？

1 単位認定
インターンシップは就業体験であり、必ずしも大学の単位として認められませんが、コーオプ教育はカリキュラム上の学修であり、大学の単位として認定されます。

2 実習期間
インターンシップが1日や数週間ほどの短期間での実習が多いことに対し、コーオプ教育は1か月以上の長期間の実習となります。

3 実習内容
インターンシップは実習先での就業体験が中心となりますが、コーオプ教育は理論と実践の往還を意識し、大学と実習受入れ先が協働して実習内容を設計します。また、コーオプ教育はカリキュラムの一環となるため、しっかりとした事前指導・事後指導を実施します。

4 給与
インターンシップは無給であることが多いですが、コーオプ教育は原則的に給与が支給されます。

? なぜコーオプ教育（実習）を行うの？

近年の日本において、少子高齢化による労働力人口の減少、若年層の離職率の増加が問題となっています。そうした中で、学生の就業力の育成や職業意識を醸成することが求められています。
茨城大学では、「課題解決能力・コミュニケーション力」、「社会人としての姿勢」、「地域活性化志向」を養成するため、地域未来共創学環の全学生がコーオプ実習を履修します。コーオプ実習は実際に企業・自治体等の現場に立ち、業務に従事しつつ、大学で学んだ理論を実践・応用することから、職業意識の醸成に効果的な教育方法です。インターンシップと異なり、有給であるコーオプ実習を経験することで、学生に責任を自覚させ、「地域、組織の一員」として業務に従事させる目的があります。また、学生が自らの将来について考える契機となり、主体的な職業選択にもつながります。
コーオプ実習で培われた学びと大学内の教育で修得した学びを結びつける、理論と実践の往還によって、より学びを深め、地域課題の解決、地域の活性化に貢献できる人材を養成します。

大学での学びと社会現場を往還し、確かな実践力と深い学びを実現

実施時期	1年次	2年次	3年次	4年次
	後期	夏季休業期間	夏季休業期間＋第3クォーター	実施時期は実習先と調整
授業科目	学内：プレコーオプ演習	プレコーオプ実習 無給	学外（企業・自治体）：コーオプ実習Ⅰ 有給	学外（企業・自治体）：（選択）コーオプ実習Ⅱ 有給

※コーオプ実習（Ⅰ・Ⅱ）を履修する前に、学内で企業研究等を行う「プレコーオプ演習」と、実習先で短期間の就業体験をする「プレコーオプ実習」を履修します。

社会・地域での学び

1年次	2年次	3年次	4年次
演習内容 ● コーオプ実習に向けた準備 ● 業界研究・企業研究 ● 企業・自治体の業務内容理解	実習内容 ● 企業・自治体等での約2週間（計60時間）の就業体験 ● 授業では学べない経験や、知識を修得 ● 「働くこととは何か」の理解を深める ● コンプライアンス・社会人マナーを修得 ● 報告会で学び・気付きを共有	実習内容 ● 約3か月間（計180時間）企業や、自治体等の業務に従事 ● 大学で学んだ、ビジネスやデータサイエンスの知識・能力を実践！ ● 実習報告書にまとめ、発表	実習内容 ● 約2か月間（計120時間）コーオプ実習Ⅰと同じ実習先の業務に従事 ● 実習を重ね、応用力・実践力をさらに高める ● 卒業課題報告としてまとめ、発表

「理論」と「実践」の往還　　「理論」と「実践」の往還

大学での学び

1年次	2年次	3年次	4年次
● 広く一般的な知識・能力を学ぶ ● 学環の学生に必要なビジネス・データサイエンスの基本的な知識・能力を学ぶ	● ビジネスとデータサイエンスを学び、身に付ける ● 様々な課題解決に主体的にチャレンジする姿勢を身に付ける	● ビジネスやデータサイエンスの知識・能力を深め、磨く ● 自身の興味のある分野の知識・能力も身に付ける	● 4年間の集大成としてこれまでの学びや経験をまとめる

プレコーオプ実習とコーオプ実習Ⅰはどんなことを体験するの？

プレコーオプ実習

大学で学んだ社会人として必要なビジネスマナーやコンプライアンス等を実社会　　で体験し、「働くこととは何か」の理解を深めます。

初日～序盤 ／ 中盤 ／ 中盤 ／ 終盤

受入れ部署の社員・職員の一員として、部署の業務に携わりながら、社会人として必要な姿勢を身に付けます。

受入れ部署の業務の説明等

オリエンテーション（自己紹介、仕事の流れの確認、社内・施設等の案内等）や、実習の目標を確認し、具体的な業務内容の説明と業務の指示を受け、実習が始まります。

業務の中で「働くこととは何か」を意識し、実践

受入部署では、社会人として必要なビジネスマナーやコンプライアンス等についての説明や指導を受け、業務の中で実践することで、実社会で必要な素養を早いうちから身に付けていきます。

実習のまとめや報告等

実習を振り返り学んだことや気づきをまとめたり、指導担当者や受入れ部署の方への報告会等を行います。

コーオプ実習Ⅰ

大学で学んだビジネス×データサイエンス×ソーシャル・アントレプレナーシップの　　知識・能力を実習先の業務で実践し、課題解決に必要な力を身に付けます。

初日～序盤 ／ 中盤 ／ 中盤 ／ 終盤

受入れ部署の社員・職員の一員として、既存の事業・企画・プロジェクト等を体験します。

事業・企画・プロジェクト等の説明

オリエンテーション（自己紹介、仕事の流れの確認、社内・施設等の案内等）や、実習の目標・学生の役割を確認し、具体的な業務内容の説明と業務の指示を受け、実習が始まります。

データや情報の収集・集計

付随する業務やその他の業務も体験!

実習受入れ部署担当者の指導を受けながら、携わる事業・企画・プロジェクトにおいて、実習での目標や課題に関連した必要なデータや情報を検討し、収集・集計・分析を行っていきます。

担当者への相談や指導を受けながら、分析・考察」を繰り返し、現状や課題を高めます。

「データや情報の収集・集計」と「結果の説明するための合理的根拠の客観性を

結果の分析・考察、改善策や新規企画の立案

集計・分析したデータや情報を基に、比較、時系列の変化、要因分析、可視化等を行います。そして、分析によって得られた結果を基に、担当者と共に考察し、現状や課題を把握し、解決につながりそうなアイディアを出したり企画立案を行います。

実習のまとめや報告等

実習を振り返り、分析・考察によって把握した現状・課題や、解決のためのアイディア等をまとめたり、指導担当者や受入れ部署の方への報告会等を行います。また、所属長等から講評等をいただきます。

コーオプ実習Ⅰの実習例

自治体

総合計画の策定を体験！

- 総合計画策定や事業立案に向けた、その地域に関する様々な統計データや情報の収集や分析
- 地域の現状把握や課題設定
- 既存事業の見直し
- 最適な解決策の立案等

イベント・講座の企画を体験！

- アンケート調査の質問内容の作成と調査の実施
- アンケート調査結果の集計・分析による利用者のニーズの把握
- イベント・講座の改善
- 新たなイベント・講座の企画立案等

地域資源のPRを体験！

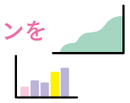
- 住民等に対する地域資源の認知度や魅力度等の調査
- 調査の分析による実態・課題の把握
- 地域資源や自治体の取組みを周知するための、適切なPR手法の企画
- PR活動の実施等

企業

商品・サービスの企画を体験！

- 商品やサービスに対する満足度調査の実施と集計
- 調査結果の分析によるニーズの把握
- マーケットシェアやポジション等の調査・分析
- 商品・サービスの改善や新商品開発の企画等

広告プロモーションを体験！



- WEB・ECサイト等のアクセス解析
- 広告プロモーションの効果検証
- 顧客への広告・広報（広告掲出やメルマガ配信、SNS投稿等）の手法の改善
- 最適な広告プロモーションの企画立案等

需要予測や品質管理を体験！

- 製品・業界・地域ごとの過去の出荷実績データの集計・分析
- 今後の発注見込み情報・景気動向の調査
- 上記調査に基づいた需要予測と生産計画の立案
- 検査データをもとにした品質改善等

※本内容は実習のイメージであり、実習先や受入れ部署の業務内容により、異なります。

PICK UP!

実習先の一部を紹介

※実習先としてだけでなく、コーオプ実習の企画や点検などにご協力頂いている企業・自治体です。

企業・自治体　五十音順

茨城いすゞ自動車株式会社

「この勉強は将来役に立つの？」「社会？ビジネス？会社？実際どうなの？」そんな疑問を持っていませんか？私は、そんな疑問が解消できたのは、社会に出てからです。
社会が分からないと、勉強の必要性が分からなかったんです。だから今では、学生時代に学んだはずのことを、学び直ししています、勉強すごい大事だな、と。
上記に少しでも共感した方。チャンス！この学環に挑戦してみてください。待ってます！

関彰商事株式会社

弊社は明治41年（1908年）に創業して以来、110年以上にわたり、地域の皆さまと共に歩み、地域のニーズに合わせて事業の拡大と多角化を繰り返し、総合商社へと成長してまいりました。現在はエネルギー・モビリティ・IT関連・介護福祉等の各事業を展開しています。
VUCA（ブーカ）と言われる答えの見えない今、人の経験則だけでなく、様々なデータを収集・分析し課題解決にあたる必要性がこれまで以上に高まっています。地域の大学で次世代を担うそのような若者が育ち、地域に貢献し続けることを期待しています。

水戸ヤクルト販売株式会社

「お客さまに寄り添い、健康寿命日本一の地域創りに貢献する」というミッションのもと、乳酸菌飲料・健康機能性食品・化粧品等の販売を通じ、お客さまのこころとからだの健康へのお役立ちができるよう、創意工夫をもって常に新たな取組にチャレンジし続けております。地域において必要とされる企業であるために創造性あふれる新たな提案ができるよう、共に学び・進化する人財をお待ちいたしております。

阿見町

私たちは、地域や住民に最も身近な基礎自治体として、日々、地域や住民と協力し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めています。阿見町は今、子育て世代から「選ばれるまち」として人口が増加しており、これからは、町から市へ、地域と共に成長していく必要があります。本学環で学び、現場感覚を備え、優れた分析力と新しい発想、そして熱い想いを持って、私たちと一緒にまちの未来を創ってくれる人財を求めています。

日立市

日立市は、県北地域の中心都市として、多くの人が働き、住み、楽しみ、そして誰もが未来に夢や希望を描くことができる、安心と活力に満ちたまちを目指しています。若い皆さんが、この学環で、時代とともに変化する様々な地域課題の本質への気付きと、その解決に導く新たな価値創出への築きを学び、私たちと一緒にまちづくりを実践しましょう。
未来は、いつも誰かの想いから始まります。日立市は、あなたの挑戦をお待ちしています。

水戸市

中核市である水戸市は、保健衛生、福祉、環境などの数多くの事務を県に代わって行うほか、保健所と動物愛護センターを独自に運営するなど、他の県内自治体にはない機能を担い、幅広い行政サービスを提供しています。水戸市での実習を通じて、将来につながる経験を積みませんか。公務員の仕事に関心のある方はもちろん、地域課題の解決に向けたアイデアをさらに深めたい方など、水戸の未来をともにつくっていく人材の参加をお待ちしています！

4年間の流れ　FLOW

地域の多様な課題の解決に向けて、様々な人たちをつなぐハブ（結節点）として、仲間と協力しながら課題解決に主体的に取り組み、地域の未来を創造する中心的な存在へ！

その先のステージ

学生が描く地域の未来

●これまでの学修や体験をもとに卒業研究に取り組みます。コーオプ実習IIを選択することで、実社会での実践力・応用力をさらに高めることもできます。

4年次

これまでの学修の集大成

- 卒業式
- 卒業研究発表会
  卒業課題報告会
- コーオプ実習II
  さらなる実践力・応用力の修得

身に付けたチカラで何ができる？

●大学での学びを実社会で実践・応用し、新たな学びへと繋げます。

3年次

実社会での実践

- コーオプ実習I
  約3か月にわたる実習を通じて、課題解決力、探求力、実行力、コミュニケーション力や協調性を修得

どんなチカラを伸ばしたい？

●すべての学生が「ビジネス×データサイエンス×ソーシャル・アントレプレナーシップ」の知識・能力を修得します。
●関心のある地域課題や将来を見据えて、ビジネス／データサイエンスのどちらかの専門性をさらに深めます。

2年次

基礎的知識の修得と課題解決への挑戦

- プレコーオプ実習
  新たな学修のフィールド「実社会」を体験
  企業・自治体の現場で、課題に触れることで問題意識を明確化
- プログラム選択

社会・地域の課題に目を向けてみよう

●社会・地域の現状を様々な角度から観察・分析する力と新たな課題解決法を導く「アントレプレナーシップ」を身に付けます。

1年次

課題解決に必要な力の育成

- プレコーオプ演習
  プレコーオプ実習、コーオプ実習Iに向けた業界・企業研究を開始
- 実習先訪問ツアー
- 大学入門ゼミ
- 入学式・新入生オリエンテーション

学環生発！

サークル活動紹介 CLUB ACTIVITIES

SDGs系サークルLinking

Link（繋がる・輪・環）＋ing（進行形）
- 人と地域と繋がる輪になる
- 日常生活に楽しく・前向きに課題に向き合う
「初めの一歩」を！

私たちは、SDGsをはじめとする社会課題を「自分ごと」として考えるきっかけを提供するため、学内外で活動しています。現在はフェアトレード企画・国際交流企画・農業企画の3本柱で活動中です。また、関心のあるテーマで新たな企画を立ち上げることもできます。学環生発のサークルですが、全学部・学環の学生を歓迎しています。学部の枠を超え、多様な興味を持つ学生同士が関わり合い、知識を深めながら実践的な活動を行い、社会にアクションを起こし続けています。

活動時間 週1回程度
イベント前は本番に向け活動頻度が増えます。

所属人数 18名（令和7年3月時点）

CHECK! サークルの最新情報はInstagramから ▸

水戸の農場で学びながらお手伝い！作業後はBBQで交流します！

メンバー自身が農業を経験！今後はイベントを開催し、より多くの人と一緒に農業と「Link」していきます！

地元企業と協力してフェアトレードコーヒーの商品開発！大学内外問わず、出店活動をしています。

初の主催イベント「絆マルシェ」より。採れたて野菜や地元グルメが楽しめるイベントを開催しました！

水戸市から地域活性化プロジェクト

魅力の再発見で「このまちいいな」を広げる
まちおこしサークル！

私たち水戸市から地域活性化プロジェクトは、地域の魅力を再発見し、「このまちいいな」という想いを広げることを目的としたまちおこしサークルです。主な活動は、地域ボランティア、SNSを活用した情報発信、まちおこしイベントの企画・運営です。私たちは、地域の魅力は特別なものだけではなく、日常の温かさや思い出、人とのつながりから生まれると考えています。こうした魅力を再発見し、共有することで、「このまちいいな」という気持ちを生み出したいと思っています。

活動時間 月2回（月曜日）
不定期：ボランティア・イベント参加など

所属人数 16名（令和7年3月時点）

CHECK! サークルの最新情報は ホームページから ▸

定期的に打合せをしています。この日も様々な意見が飛び交いました。

様々な人とのコミュニケーションを大切に楽しくボランティア活動中！

キャンパスライフ

大学生活ってどんな感じ？
学環生の1日をチェック！

チャレンジ精神、満々たれ

高橋 雅也 | TAKAHASHI Masaya

（2年 | 東京都・足立学園高等学校出身）

MESSAGE

私が描く未来は、「地域の人々が主体的に活動し、活気あふれるまちづくりを実現すること」です。この思いで学修するため入学しましたが、現在は試行錯誤を繰り返す毎日です。それでも諦めずに挑戦を続けているのは、自分の目指す明確なビジョンがあるからです。

地域未来共創学環では、チャレンジ精神を持ち続けることができる環境が整っています。経験豊富な先生方に気軽に質問できるだけでなく、自分の意見に対して的確な助言をいただけるのも大きな魅力です。さらに、仲間たちが積極的に行動する姿を目の当たりにすることで、日々自分の目標への挑戦意欲がかき立てられます。

ぜひ、地域未来共創学環でともに学び、新しい挑戦に取り組みましょう！皆さんと共に未来を切り拓いていけることを楽しみにしています。

PROFILE

住まい	一人暮らし
通学手段	徒歩
サークル	ワンダーフォーゲル部、チェス、将棋、Linking等
座右の銘	最悪を想定し、最高の準備を！

OFF SHOT!

予備自衛官補として訓練に参加しています。幅広い年代の方々と共に活動しています。

SCHEDULE

7:00 起床
朝ごはん・身支度
登校

8:40 **1限　データ活用法**
パソコンとノートを併用させながら授業を受けています。

10:35 **2限　会計学概論**
連係協力学部である人文社会科学部の学生と一緒に授業を受けています。

12:30 **復習・自由時間**
学生ラウンジでは、授業の課題について友人同士が教え合いながら学び合い、互いに知識を深める貴重な場となっています。

17:00 **5限　行政学**

19:00 **サークル活動**

20:30 帰宅

大学では授業に出席するだけではなく、予習や復習など、自ら学ぶ姿勢がとても大切になります。そのため、時間割の空きコマ（授業のない時間）は、ラウンジやスタディルームで、予習・復習を行い、理解をより確かなものにしています。

教室

ラウンジ

スタディルーム

机ごとに仕切りがあり自分だけの集中した空間で勉強することができます。各机に電源コンセントが備え付けられているため、バッテリー残量を気にせず、PC 作業も可能です。

WEEKLY SCHEDULE（例：2年次前期）

	月	火	水	木	金
1 (8:40-10:25)	IoT活用法	データ活用法	ランドスケープ整備論	コミュニティビジネス	
2 (10:35-12:20)	ソーシャル・アントレプレナーシップⅠ	会計学概論	地域社会調査法		
3 (13:10-14:55)	計量経済学		公共社会		
4 (15:05-16:50)	共生とコミュニケーション		経営管理論		地方創生とリーダーシップ
5 (17:00-18:45)		行政学			地域メディアビジネス論

３年次からはコーオプ実習Ⅰが行われるので、２年次の内にたくさん単位を取ろうと思っています！地域の課題解決のため文理問わずさまざまな分野から学んでいきたいです。

茨城大学では1講時あたりの授業時間数を105分としています！

在学生から高校生のみなさんへ

MESSAGE

新たな気づきや出会いに
恵まれた面白い場所です！

勅使河原 翔 | TESHIGAWARA Sho

（2年 | 宮城県・角田高等学校出身）

地域未来共創学環には、課題解決や自己実現に向けてさまざまなことに挑戦する学生が多く、私自身も日々刺激を受けながら、やりたいことに挑戦できています。
また、学環では幅広い分野について学ぶことができるので、自分の夢や目標に対する視野が広がります。行動力のある仲間達に囲まれながら学び、地域おこしに挑戦する――そんな毎日は、新たな気づきの連続です。自分にはなかった考えに出会い、新たな視点を得ることができるのは、本当に面白い!この環境だからこそ、多くの学びと成長があると実感しています。

やりたかったことが
全部詰まった場所

武藤 リヤナ | MUTOU Riyana

（2年 | 茨城県・竹園高等学校出身）

地域未来共創学環には地域課題に興味のある人や意欲的な人が大勢集まっています。少人数ならではの「一体感」があり、とても楽しく学生生活を送れています。周りの人の影響で私自身、この一年で多くのことを経験することができました。例えば、友人と新たなサークルを立ち上げたり、ボランティアやイベントにたくさん参加したり、県庁でインタビューをさせていただいたりと多くのやりたかったことにチャレンジすることができました。授業もおもしろく、毎日が刺激的でとても楽しいです。一緒にこの学環で勉強しませんか？

新たな学びに出会えて
とても充実しています

清川 紘香 | KIYOKAWA Hiroka

（2年 | 沖縄県・開邦高等学校出身）

入学時は、貧困問題に関心があり、経済や政策を学びながら、行政のオープンデータを活用する力を養いたいと考えていました。しかし、さまざまな授業や実習を通じて、新たに地域の交通問題に関心を持ち始め、渋滞予測やシェアサイクリングの促進など、データを活用した解決策を模索し、地域課題に貢献できるサービスを提供したいと考えるようになりました。学環の分野・文理横断型のカリキュラムだからこそ、新たな視点を得ることができたと感じています。高校時代は文系でしたが、プログラミングやデータサイエンスを学ぶ中で、これまで触れる機会のなかった分野に強く惹かれるようになりました。今後は、これまでの関心と新たな学びを融合させ、データを活用した地域課題の解決に貢献できる力をさらに磨いていきたいと考えています。

自分の想像を超える
学びができる

高塚　悠史 | TAKATSUKA Yushi

（2年 | 高知県・土佐高等学校出身）

私が地域未来共創学環に入学してよかったと思うことは、幅広い分野を学ぶことができることです。学環では人文社会科学部、工学部、農学部の授業を中心に、分野・文理横断型のカリキュラムが編成されています。高校時代は文系だった私にとって理系分野、特に数学に関する授業はとても不安でした。しかし、授業を受けるうちに楽しむことができるようになり、まさか大学で数学を学ぶとは思っていませんでしたが、その経験が視野を大きく広げてくれました。

キャンパス　水戸キャンパス

■ アクセス

〒310-8512　茨城県水戸市文京2-1-1

【鉄道でのアクセス】

- JR上野駅からJR水戸駅まで・・・常磐線特急ひたち / ときわが約30分毎に運行中
  ［乗車時間］特急：65分～85分　各駅停車：約120分
- JRいわき駅からJR水戸駅まで・・・常磐線特急ひたち運行中
  ［乗車時間］特急：約70分

○JR水戸駅から水戸キャンパスまで
JR水戸駅（北口）バスターミナル⑦番乗り場
茨城交通バス「茨大行（栄町経由）」乗車　➡　「茨大前」で下車（約25分）

【高速道路でのアクセス】

- 常磐自動車道水戸北スマートICより
  国道123号線を水戸駅方面へ約3kmで大学前の交差点です。

茨城大学
Ibaraki University

茨城大学 地域未来共創学環 学務グループ
〒310-8512　茨城県水戸市文京2-1-1
TEL：029-228-8562

最新情報や入学者
選抜情報はこちら